



瑞二だより

教育目標 自立・貢献・生き抜く力

発行者 江戸川区立瑞江第二中学校
校長 横枕 耕史
発行所 東京都江戸川区瑞江4-54-1
発行日 令和8年(2026年)4月6日
第557号



みんながずっとニコニコ笑顔でいられる学校を目指して

校長 横枕 耕史

この度、第13代校長・滝澤 清豪 先生の後任として、春江中学校から着任いたしました第14代校長の横枕 耕史(よこまくら こうし)です。春江中は昭和52年に瑞二中から分離し開校した学校であり、本校に着任できたことに深いご縁を感じています。生徒・保護者・地域の皆様・教職員とともに、瑞江第二中学校開校60周年を盛大に祝い、「**みんながずっとニコニコ笑顔でいられる学校**」を目指す所存です。よろしくお願いいたします。

さて、3月から4月にかけては、別れと出会いが重なる「**一期一会**」の季節です。進級や入学により、新しい仲間、新しい役割、新しい自分と向き合う時期でもあります。新しいクラス、新しい仲間との出会いに、期待と同時に不安を感じている人も多いことでしょう。では、**新しい仲間と良好な関係を築くためには、どうすればよいのでしょうか。**

大切なのは、「**まず相手を知ろうとする姿勢**」です。自分の考えを伝える前に、相手の話に耳を傾けること。違いを否定せず、「**そういう考えもある**」と受け止めること。挨拶や何気ない声かけなど、日常の小さな行動の積み重ねが、信頼関係の土台を作ります。無理に自分を良く見せようとする必要はありません。**誠実に向き合うことが、仲間との距離を縮めていきます。**

また、**一人一人の個性・カラーが映えるためには、「比べすぎないこと」**も大切です。得意なことも、苦手なことも人それぞれです。誰かと同じであろうとするのではなく、「**自分には何ができるか**」「**どんな役割なら力を発揮できるか**」を考えることで、自分らしさは輝きます。そして、**仲間の良さに気付き認め合うこと**で、学級や学校全体がより豊かな集団になっていきます。**学校は失敗しても良いところ、「失敗は成功の素」と、挑戦や良い点に拍手を送り、互いに認め合い、否定されない安心感のある温かい空気が生まれる学校にしていきたいと思います。**

こうした人との関わりの中で育っていく力こそが、本校の**教育目標「自立・貢献・生き抜く力」**につながっています。

「**自立**」とは、他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うことだけでなく、自分で考え、判断し、選択したことに責任をもつ姿勢のことです。時には迷い、助けを求めながらも、自分の足で一歩を踏み出そうとする力を育てていきます。

「**貢献**」とは、特別なことを成し遂げることだけを指すものではありません。誰かのために自分の力を生かそうとする優しい言葉、友達を思いやる行動、役割を果たそうとする姿勢など、日常の小さな行動が集団を支え、より良い学校をつくれます。自分の存在が誰かの力になっていると実感することが、社会へ向かう意識を育てます。

「**生き抜く力**」とは、単なる知識の量ではなく、自ら考え、情報を整理し、自分の言葉で他者に伝え、周囲と協働して課題を解決していく「**発信・コミュニケーション能力**」です。変化が激しく先の見通しが立ちにくい時代を前向きに生きていくため、自分の考えを論理的に伝え、相手を納得させる力は社会に出てからの強力な武器になります。

本校の教育目標の実現に向け、「**プレゼンテーション能力の育成**」を教育活動の軸とし、「**考える力**」、「**伝える力**」、「**見せる力**」、「**聴く力**」と「**認め合う文化**」、自分の考えを外に表現する「**アウトプット**の力」を育成していきます。

本校の教育目標を保護者・地域の皆様にご理解いただき、子どもたちを中心に据えた「**共通の願い**」として受け止めていただければ幸いです。温かな見守りや励ましが、子どもたちの挑戦を支え、自己肯定感や自己有用感を育むことにつながります。

新年度の始まりにあたり、一人一人が展望を持ち、仲間とともに成長していく一年となるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。